

教育と医学



2020 **7・8** 第68巻4号 目次

連載

緊急特集 社会不安のなかで子どもを支える

特集にあたって

コロナ禍が浮かび上がらせた世界・人・教育……………望田研吾 2

新型コロナ・パンデミックに関連するメンタルヘルスの課題……………黒木俊秀 4

社会不安のなかでの子どもたちの不安と教育を考える……………増田健太郎 10

公衆衛生学・予防医学の観点からのポストコロナ……………馬場園 明 16

これからの学校・家庭における新型コロナウィルス感染症予防……………安元佐和 30

いま、子どもたちの学ぶ意欲にどう寄り添うか……………伊藤崇達 36

社会不安における子どものストレスと「親子でチャレンジ動作法」……………古賀 聡 42

教室と学校の新たな意味について……………藤田雄飛 50

〈教育のリアル〉 リスクのアンテナ——「安全」な学校再開は可能か？……………内田 良 22

〈再考「発達障害」〉 発達障害とコミュニケーションスタイル……………篠山大明 56

〈希望をつくる教育デザイン〉 3Dプリンタが開くDIY支援機器の世界……………南谷和範 68

〈未来をひらく健康教育〉 過去の教訓に学ぶ感染症……………江藤真美子 76

特別支援教育のページ▼久里浜だよりII 研究企画部の活動について……………独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 66

●五反田家の子どもたち 64 ●バリアフリー絵本の世界 65

新刊情報 21 / 教育と医学関連の雑誌情報 9 / 特集題目一覧 84 / 編集後記 88

表紙イラスト・デザイン 中尾 悠

コロナ禍が浮かび上がらせた 世界・人・教育

もちだ・けんじ

九州大学名誉教授。教育と医学の会会長。教育学博士。専門は比較教育学。元日本比較教育学会会長、アジア比較教育学会会長。著書に『現代イギリスの中等教育改革の研究』（九州大学出版会、一九九六年）、『21世紀の教育改革と教育交流』（編著、東進堂、二〇一〇年）など。

望田研吾

コロナウイルスによる疫病が世界を覆いつくしています。五月十八日現在で世界の感染者は約四七〇万人、死者は約三十一万人にのぼり、暗く長いトンネルの出口はまだ見えてきません。COVID-19はパンデミックとして文字通り世界中の全ての人の生命、生活そして社会に未曾有の被害をもたらしています。コロナ禍が世界中に広まりだしてわずか四ヶ月ほどですが、既に政治や経済の分野で「コロナ後」の世界が議論され、二十一世紀世界の基底にあったパラダイムはコロナ禍によって激しく揺らいでいます。またコロナ禍はその対策にあたる政治家の本性を浮かび上がらせています。さらに教育においても従来からの問題を大きく増幅させる結果をもたらしています。

コロナウイルスがこれほど短期間に世界中に蔓延した大きな原因はグローバルゼーションです。中国の一地方都市武漢で発生したコロナウイルスは、おそらく中国人観光客などを通じて世界中に運ばれたのでしょうか。まさに「ある国の一地方でおきた出来事が世界中の人びとに影響を与える」というグローバルゼーションの本質をまざまざと見せつけたのです。しかし、コロナ禍に対してまず世界中の国がとった策は、連携や協力を旨とするグローバルゼーションとは真逆の国境閉鎖でした。こうした方向によって「コロナ後」の世界では政治、経済が自

国中心へとシフトする「脱グローバル化」の動きが強まることが予想されています。

コロナ禍への各国の対策の基本はロックダウンでしたが、その過程で浮かび上がってきたのは政治家たちの本性です。世界で最大の感染者と死者が出ているアメリカの二人の政治家の姿勢はその違いを際立たせています。ニューヨーク州のクオモ知事は、「われわれがこのように苦しいロックダウンに耐えるのは、死に至る確率が高い五%ほどの高齢者などの弱者のためだ」と強調しました。これに対しトランプ大統領の姿勢は一貫して経済重視です。当初トランプ大統領は、コロナウイルスはミラクルのように消え去るなどと科学的根拠を無視した楽観的発言を繰り返し、五月に入ると自身の再選を意識し経済重視の観点からロックダウン解除に前のめりになっています。メディアはこの姿勢を、金と命を天秤にかけるものだと批判しています。金か命か、これはどの国でもコロナ禍によって政治家に突き付けられた問いですが、それは私たち自身にも向けられたものでもあります。

コロナ禍は世界中の子どもたちの教育にも甚大な影響を及ぼしています。ユネスコによると五月十八日現在、全国的休校措置をとっている国は一五六ヶ国にのぼり、一二億人以上の子どもが通常の学校教育の機会を閉ざされています。多くの国ではオンライン授業に切り替えています。長引く休校は、社会階層間格差をさらに拡大させる結果をもたらしています。パソコンやタブレットの所有、インターネットへのアクセス、家での学習スペースなどの点で、どの国でも貧しい家庭の子どもは、恵まれた家庭の子どもに比べてきわめて不利な環境に置かれており、その結果学力格差がさらに拡大することを、教育者たちは危惧しています。さらに特に貧しい発展途上国では深刻化する経済不況によって、児童労働や虐待が一層悪化することも懸念されています。戦争の最大の被害者は一番弱い立場にある子どもたちと言われます。コロナウイルスとの戦いは戦争にもたとえられますが、その戦いの中で学習の機会を奪われ、虐待にさらされる子どもたちもコロナ禍の被害者となる危険性を、今の状況ははらんでいると言わざるを得ません。

こうしたコロナ禍によってもたらされている被害や影響の重要性に鑑み、本誌は当初予定した特集を急遽変更し、「社会不安のなかで子どもを支える」という特集を組むことにしました。今まで誰も経験したことのないコロナ禍の中で、この特集が読者の皆様にとって何らかのお役に立つことができれば幸いです。

新型コロナウイルス・パンデミックに関連する メンタルヘルスの課題

くろぎ・としひで

九州大学大学院人間環境学研究院教授。精神科医、臨床心理士。医学博士。専門は臨床精神医学、臨床心理学。九州大学医学部卒業。著書に「発達障害の疑問に答える」（編著、慶應義塾大学出版会、二〇一五年）など。

黒木俊秀

災害としてのパンデミックの特徴

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症は、その最初の発生からわずか半年足らずの間に世界中に蔓延し、第二次世界大戦以来と言われる甚大な被害を各国にもたらした。とくに先進国である欧米の感染者数・死亡者数が急増し、医療崩壊の危機に直面したことはショッキングであった。国と国との行き来はもろろん主要都市が封鎖され、人々は社会的距離（ソーシャル・ディスタンス）を保つために外出を自粛して家にひきこもった。世界経済が萎縮し、今後の景気回復もまた喫

緊の課題となっている。

近年、私たちは巨大な地震や水害など、度々大きな自然災害を経験してきたが、今般の新型コロナウイルス感染症のパンデミック（世界大流行）は、それらの災害と比較して、いくつかの立った特徴がある。それゆえに私たちは他の災害では体験したことがない特殊な心理的ストレスを強く受けている。

まず、新型コロナウイルスのパンデミックの最大の特徴は、それが目には見えない点である。無論、ウイルスの粒子が私たちの目に見えるはずもないのだが、新型コロナウイルスの場合、厄介なことに、感染しても無症状か、発症しても軽症の場合が多く、PCRや抗

体検査を受けない限りは、感染者本人も感染していることに気づかないまま、他の人々に感染してしまう可能性がある。そのため、感染経路を特定しにくく、感染拡大の水準で食い止めることが困難である。しばしば感染予防対策が「見えない敵と戦う」と称される理由である。その代わり、ほとんどの人々は、見えない新型コロナウイルスの感染拡大をテレビやインターネットなどの媒体を介して知っている。一日に新たに発生した感染者数や死亡者数、及びその累計、あるいは感染クラスタの発生、そして著名人が新型コロナウイルスのために亡くなったニュースなど、実に膨大な量のコロナ関連情報を私たちは、日々、受け取っている。つまり私たちは、氾濫する情報を通して新型コロナウイルス感染症を見て、おののき、混乱しているのである。

次にパンデミックという用語が示す通り、一般のコロナ災禍は地球規模の広がりを持っている。今、世界のどこにも新型コロナウイルス感染症と全く無縁という場所はない。地上のすべてが被災地なのである。感染のリスクがさほど高くはない土地に居たとしても、国境・都市の封鎖や経済活動の制限の影響を受けない人々はいないだろう。パンデミックは、グローバルゼ

ーションと表裏一体の関係にあるからである。

三つ目の特徴として、パンデミックは自然災害のように数時間から数日の時間単位で被害を及ぼすのではない。現在（二〇二〇年六月）、わが国では国内最初の新型コロナウイルス感染者の発生から約五ヶ月を経てようやく流行が抑えられつつあるが、専門家は今後も第二波、第三波の感染拡大が到来する可能性を警告している。過去のパンデミックの歴史を参考にすると、完全な収束までにはなお一、二年を要するかもしれない。かくも私たちは長期戦を強いられている。

さらに、新型コロナウイルスのように有効な予防法（ワクチン）や治療法がまだ確立していない感染症の場合、感染者に支援者はおろか肉親さえもつかつに近寄れない。他の災害支援の場合に基本となる人と人の「絆」が、かえって感染拡大を招く可能性がある。実際、医療従事者の院内感染が医療崩壊の一因として危惧された。さらに、堪え難いのは、重症肺炎で亡くなる人を家族がかたわらで看取することも許されない点である。こうした支援の難しさもメンタルヘルスの問題とも関連してくる。